2018
5
第23号

ZONTA
CLUB OF HAKODATE-HOKKAIDO
MEMBER OF ZONTA INTERNATIONAL
EMPOWERING WOMEN THROUGH SERVICE & ADVOCACY

函館ゾンタクラブ会報

ZONTA INTERNATIONAL DISTRICT26 AREA1
ZONTA CLUB OF HAKODATE

会長を終えて

会長　池亀　睦子

会員の皆様はじめ、関係者の方々におかれましては、この2年間大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。ゾンシャンとして経験の浅い私ですが、会長としての責務の中でゾンタクラブに対し、更に理解を深める事ができたと思っております。また、クラブの年間行事や奉仕活動を通し、多くの人と出会い学びを得る機会ともなりました。

しかしながら、そんな中残念なことに当クラブの本間明子チャーターメンバーが93歳の御生涯を終えられました。女性医師として、母として、ゾンシャンとしていつも凛とされ多くのご指導を頂きました。こよなく函館ゾンタクラブを愛したお姿は、会員のこころに残り本間明子会員が、このクラブの一員であったことは誇りであり数々の御教示を大切に今後に繋げていくこととなります。

さて、ゾンタクラブは女性の地位向上を目指し、奉仕活動を展開していると社会的に認知されています。私たちは、奉仕活動とはなんぞやと議論をする時もあります。社会活動家、法政大学教授　湯浅　誠氏は、ボランティアで生活困窮者支援を続ける人たちは口をそろえて言います。誰かのためにやっていると思っていたけれど「結局、自分が生かされ、助けられている」「自分の居場所になっている」と。私も、クラブの一員となり様々な活動をする中で実感することです。そして、国連との関わりでグローバルウォッチもでき、共生の未来もささやかですが自分なりに考える機会もあります。今後も、地道に自分らしくクラブの活動を頑張って行きたいと思っています。

最後に、6月に横浜で行われる世界大会が大成功であることを心より願いますとともに、この度、函館ゾンタクラブよりエリア1ディレクターに水野幸子会員が就任致しました。どうぞ宜しくお願い申しあげます。

2017年度ゾンタローズデー活動報告書

アドボカシー委員会

3月8日は、1904年にアメリカ・ニューヨークで婦人参政権を要求したデモを起源とし、1975年に国連が国際女性デーを制定いたしました。国際ゾンタは女性への差別撤廃と女性の地位向上をめざすゾンタの理念を広めるために『黄色いゾンタローズ』にちなみ、ゾンタローズデーとして世界各国のゾンタクラブに活動を呼びかけています。

函館ゾンタクラブアドボカシー委員会は、この活動方法について協議した結果、今年度は市民へ『国際女性デー』の啓発を通じて函館ゾンタクラブの活動を知っていただくことに致しました。2018年3月7日（水）五稜郭地下道に午前11時30分に会員14名が集合し、ティッシュや、クリアファイルを通行人に配りました。

この活動は、北海道新聞・函館新聞そしてNCVテレビで広く報道されましたので、所期の目的は達成されたものと思います。

チャリティービンゴパーティ

奉仕委員長　川　原　拡　子

8月26日、工藤市長様はじめ7名のご来賓をお迎えし421名の参加者の下、第43回チャリティービンゴパーティが開催されました。このパーティはクラブの活動資金調達のため、奉仕委員会を中心に全会員の協力による一大イベントです。

共催のロイヤルホテル心尽くしのお食事、そして賞品の数々にお客様からは喜びの声が、又、益金から寄付金を贈呈させて頂いた団体からは感謝の声が届いており、リピーターが多くを占めております。今後もチャリティビンゴはゾンタの歴史と共に永遠に続いていくものと信じております。

エリアミーティングに参加して

林　田鶴子

エリアミーティングの様子

古き良き時代の建物等を多く残している小樽、石とガラスと運河の町小樽で昨年新しく開館した芸術村に、19世紀後半から20世紀初頭にイギリスで制作され、実際に教会の窓を飾っていたステンドグラスが、取り壊された教会より数奇な運命を辿り小樽にやってきました。この財産となりうる宝を見学することができました。

また、少ない会員の小樽が札幌の方々に協力していただきながらの、心温まるエリアミーティングを開催していただきました。ありがとうございました。

エリアディレクターをお受けして

水　野　幸　子

国際の2文字に魅力を感じつつ、何度か知人に誘って頂いて入会後、気がつくとすでに24年。世界大会には入会翌年に初参加して、やはり、世界は一つ・人類は皆が友人をいう思いを改めて実感して帰国しました。

ゾンタクラブの情報は日常見聞きする事でもなぜかもっと身近で現場に近い話として得る物が多く皆で共有したい気持が湧きます。常に身の回りのでき事に注意して過ごす習慣はこのクラブの日々で教えて頂いたものと思え、感謝しきりです。

世の中が何となくざわつく昨今、今まで以上に身の回りの出来事に目を配り、これから成長してゆく若者の将来を見つめる等、国際ゾンタの役割は今まで以上に大きくなると感じます。来期はエリア1の会員の皆様と一緒に国際ゾンタ26地区のディレクターとして努めたいと思っております。

第１４回地区大会に参加して

水　野　幸　子

２０１７年１０月、高松で開催された大会には国際会長のご参加が有り、多いに盛り上がりました。日頃女性の為に活動する事を、今以上にピールし、自己強化をする事で、他の女性達の強化が可能になる等、改めて国際会長から認識させられました。今回、会員増強の活動で函館は表彰状を頂きました。常に全会員が心がけた賜物で、檀上の会長の誇らしい笑顔は、クラブの皆に見て欲しかったです。

基調講演は、かの有名なシンクロの井村監督の講演で、若者をほめ、愛情を持って指導する、諦めない心を育て、努力するから楽しくなる事を教えるという、指導者の大切なポイントを勉強しました。また、ゴールデン Z、Z クラブの若者が多く出席し、次代に繋がる奉仕活動に対する夢と希望が有り、先行きが明るいという感想を抱きました。

追想 フォレスタコンサートと本間明子先生　フォレスタコンサート実行委員長　小林　八重子

2017年12月3日命終された本間明子創立会員は、自分史の中で【音楽の道】に進みたいと考えたと記しているほど、ピアノや声楽がお得意であったと聞く。晩年はフォレスタのテレビ放送を熱心にご覧になっていて『もう一度函館に呼びたい』と願っていました。それを函館ゾンタクラブで 実現し、函館市民や学生にも【本物】を味わって欲しいと、その情熱は、私たち会員の胸を打つことでありました。ようやく開催日が9月7日に決定した時、『そうかい』先生の一言が忘れられません。実行委員長になった私の報告が先生にはもどかしく『どこまで進んでいるのか?』と気を揉んでいらしたという‥チケットの売れ行きも順調で、全国各地から問い合わせがあり、当日は満席!お客様から感激の言葉を頂きました。その頃は端から見ていても先生の表情は苦しげで、出迎え等はさせたくなかったが、結局、先生は病状を押して空港までのお見送りをされました。その後、再々、入院を繰り返し逝かれてしまったが、先生は満足だったと思いたい。生前、『貴方たちがちゃんと函館ゾンタを守ってよ』が口癖で、函館ゾンタクラブが第一であった創立会員でありました。35周年事業の【新垣勉おしゃべりコンサート】そして【フォレスタコンサート】どちらも実行委員長をさせていただきました。折々の多額寄付に感謝しつつ、会員の増強に努め、ゾンタの理念がこれからも永遠に引き継がれていくことを願い、明子先生のご冥福を心よりお祈りいたします。

岩井ADクラブ訪問

会員の仕事紹介

今泉　香織 会員

私の仕事は水引アートという日本独自の伝統工芸です。
今年の4月から市立函館博物館郷土資料館（旧金森洋物店）の指定管理者となり、館長も兼任することになりました。函館を代表とする歴史的建造物と水引、どちらも後世に遺し伝えていかなければならないものとして、自分に与えられた使命にやりがいを感じております。
実は最近嬉しいことがありました。友禅染作家の景澤富佐子会員のご協力を得て、郷土資料館で友禅染の体験講座が実現したことです。まさにゾンタでの出会いに感謝です!ゾンタクラブの結束力の強さ、支えあいの精神に感じ入ると同時に今後も皆様と共にゾンシャンとしての道を歩みたいと決意を新たにしております。

景澤 富佐子 会員

私は京友禅の染色作家です。着物や帯の柄をデザインし、彩色するのが主な仕事です。この仕事について20年が過ぎました。京都から函館に帰ってきて、染工房『彩夢』～AYAME～を開き、少しずつ前に進んでおります。
着物が出来るまで、12～13の工程があります。京都では1工程につき1人の職人がつきますが、私は函館でその3分の2の工程をしています。全て一つ一つが大切な仕事です。今後の大きな夢ですが、海外の方にも、日本の伝統工芸である友禅染の魅力をもっと知っていただきたいと想っております。そして、ゾンタクラブの一員である誇りを持ち、「輝ける女性」になれるよう、精進して行きたいと思っております。

入会のご挨拶

男尊女卑の思想が今なお強い日本社会では、女性の地位向上になかなか光が当たらないのが現実ではありますが、その地位向上を謳い、そのための活動をすることが女性が女性らしく、しかもたくましく生きていける社会を現実するための一歩であると考えます。諸先輩の方々を見習い、積極的に活動していきたいと思います。皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

会長　　木原会員

畑・久我・岸本会員

◆ クラブ年間活動報告（2017年6月～2018年5月）

年	月	活動内容
2017年	6月	7日　理事会 10日　次期エリアディレクターに水野幸子会員を選考委員会に推薦する。 18日　山形ゾンタクラブ 10 周年へ出席 21日　総会及び例会…2016 年度報告事項及び 2017 年度事業予定・予算書等審議
	7月	4日　奉仕委員会出席 5日　理事会 19日　例会 21日　国際交流センター第 32 回日本語スピーチコンテスト出席「ゾンタ賞」贈呈（6 名参加） 29日　教育大学サマースクール in 函館開校式出席（7 名参加）
	8月	9日　理事会・チャリティビンゴ試食会 16日　例会 28日　第43回チャリティビンゴパーティ開催
	9月	6日　理事会 7日　フォレスタコンサート（函館ゾンタクラブ主催）（720 名参加） 17日　会員委員会出席 20日　例会…市内寄付先 4 団体に寄付金贈呈セレモニー
	10月	5日　理事会 18日　例会 24日　函館子ども歌舞伎へ寄付金贈呈
	11月	1日　理事会 15日　移動例会…会員親睦会 26日　子ども歌舞伎鑑賞
	12月	5日　理事会 9日　家庭生活カウンセラークラブ忘年会出席 20日　例会 27日　ソロプチミスト函館クリスマスパーティー出席
2018年	1月	5日　理事会 9日　北海道新聞新年交礼会出席 10日　青い空へ寄付金贈呈（世界自閉症啓発デー） 17日　例会…創立月の意義とアメリア・イアハートについての勉強会
	2月	2日　理事会 16日　例会　於：函館ビール
	3月	2日　理事会　於：函館ビール　入会セレモニー 4日　第 47 回はこだて女性大会出席 7日　ゾンタローズデー活動、シエスタ地下道でクリアファイル配布、地元テレビ局 NCV で放映される。 16日　例会　於：函館ビール
	4月	4日　理事会 18日　例会
	5月	2日　理事会 16日　例会・親睦会 17日　NPO 法人はこだて出会いサポートセンタージュノール開所式出席

サマースクール in 函館

函館子ども歌舞伎
自主公演に寄附

12月20日例会にて
『バーデンクラブの活動』ゲスト
オーストリアバーデンクラブ在籍の
カレン・クラーク様

2017年度 例会出席100%の
皆様に記念品プレゼント

編集後記

2017年度会報をお届けします。今年度は当クラブ創立会員の本間先生がお亡くなりになられ、悲しい思いです。でもゾンタクラブの皆さんの団結力で新しい会員がたくさん増えた事は大変素晴らしく喜ばしいです。お忙しい中原稿の依頼を快くお引き受け下さった皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

広報担当　アドボカシー委員会